



議 委 第 23 号
平成 24 年 6 月 13 日

南会津町議会議長 芳賀沼 順一 様

産業建設委員長 山 内 政



所 管 事 務 調 査 報 告 書

所管事務調査について、調査した結果とその内容を下記のとおり報告いたします。

記

1. 調 査 日 平成 24 年 5 月 22 日 (火) 午前 10 時 00 分から午後 5 時 00 分まで
 平成 24 年 5 月 23 日 (水) 午前 8 時 30 分から午前 11 時 55 分まで
2. 目 的 ①農林業振興に関する事項
 ②道路、河川整備に関する事項
 ③環境に関する事項
 ④新エネルギーに関する事項
 以上の事項を調査するため。
3. 参 加 者 委員長 山内 政・副委員長 阿久津梅夫
 委 員 長谷川耕一・室井 嘉吉・湯田 哲・渡部 忠雄
 事務局 鈴木 雄蔵
4. 説 明 員 ・建設課、課長 鈴木 忠男、課長補佐 大橋 三郎
 ・農林課、課長 大竹 洋一、課長補佐 小寺 俊和
 土木係長 室井 利和
 ・環境水道課、課長 長沼 豊、課長補佐 斎藤 二郎
 ・南郷総合支所、支所長 近藤 甚悦、振興課長 馬場 美光
 課長補佐 星 義春
 ・伊南総合支所、支所長 齋藤 友一、振興課長 渡部 正義
 課長補佐 湯田 信隆
 ・舘岩総合支所、支所長 室井 裕、振興課長 星 善光
 課長補佐 阿久津弘典
 ・南会津建設事務所道路課主査 湯田 博文 氏
現地立会 ・長野区長 渡部 康吉 氏
 ・糸沢区長 渡部 忠一 氏 (他区役員 3 名)

5. 調査日程及び結果（日程については別紙現地調査行程による）

(1) 農林業振興に関する事項

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ・復興木材市 | 田島地域針生地区（だいくらスキー場駐車場） |
| ・集中豪雨災害復旧林道工事（大橋線） | 南郷地域大橋地区 |
| ・チップ生産保管施設 | 伊南地域青柳地区 |
| ・集中豪雨災害復旧林道工事（小白沢線） | 伊南地域古町地区 |
| ・集中豪雨災害復旧林道工事（大原線） | 伊南地域大原地区 |
| ・集中豪雨災害復旧水田土砂撤去 | 伊南地域小立岩地区 |
| ・集中豪雨災害復旧林道工事（前沢入線） | 舘岩地域前沢地区 |
| ・集中豪雨災害復旧水路工事 | 舘岩地域森戸地区 |
| ・川島コミュニティセンター | 田島地域川島地区 |
| ・川島堰 | 田島地域川島地区 |

◎農業振興について

今回の調査は昨年7月の新潟・福島豪雨災害に見舞われた農地の復旧状況の確認である。事業の発注は昨年の内に実施され、繰越事業として行なわれていた。災害査定のおり、水田の耕土が無い場合条件付きで客土が認められているという説明であった。圃場整備事業がまだ完了していない段階で被害にあったわけであり、今後耕土の有無も含め水田として稲作ができるよう事業を進めるべきである。

◎林業振興について

今回の調査は昨年7月の新潟・福島豪雨災害に見舞われた林業施設の復旧状況の確認である。どの現場でも繰越事業として実施されていたが、雪解けを待っての工事だけに進捗率は低い。特に伊南地域の林道被害は多岐にわたっており林道入り口から順に工事が進められるので、奥地に広がる森林整備に支障が出ることが予想される。今後、森林組合等を含め森林整備事業の確保に努めてもらいたい。

チップ生産保管施設が完成しチップの生産が稼動した。まだ、きらら289のボイラー施設分の生産だけであるが、今後検証が進みチップボイラーが増設される計画が進むと現状の施設では一部不具合が認められた。それはチップ生産途中での「ふるい」をかける工程である。現在現場の努力で網で対応がされていたが専用の「ふるい機」が必要になって来ると思われる。それは間伐材の搬出を奨励しその間伐材の有効な供給先施設として今後益々需要を高めていかなければならないからである。

(2) 道路、河川整備に関する事項

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ・集中豪雨災害復旧河川工事（大沢川） | 田島地域長野地区 |
| ・集中豪雨災害復旧河川工事（小塩沢） | 伊南地域小塩地区 |
| ・集中豪雨災害復旧道路工事（宮里線） | 舘岩地域穴原地区 |
| ・集中豪雨災害復旧河川工事（糸沢川） | 舘岩地域福渡地区 |
| ・県道栗山舘岩線 | 舘岩地域水引地区 |
| ・町道損傷 | 舘岩地域水引地区 |
| ・町道狹隘橋梁架け替え案件 | 舘岩地域木賊地区、さいたま市立舘岩少年自然の家 |
| ・台風15号災害復旧道路工事（中山線） | 舘岩地域八総地区 |
| ・新中山トンネル工事現場 | 舘岩地域八総地区 |
| ・流雪溝導入水路 | 田島地域糸沢地区 |

◎道路整備について

舘岩地域の町道損傷については現地確認で直ぐに対応処置が明言されたことは住民

の方に寄り添うもので評価をしたい。今後とも検証をして行かなければならないだろう。さいたま市立館岩少年自然の家に架かる橋梁は現在基礎部を補修中であった。又町道が狭隘で冬期間スリップ事故や雪崩の危険箇所を抱えている現況は大変憂慮しなければならないものである。放射能汚染の風評に晒されながらも少年自然の家に生徒を送り続けていただいているさいたま市に対しても、安心と安全を担保するのが我々の責務であろう。事故が起きる前に対応をしていただきたい。

新中山トンネルは、4町村合併の一つのシンボルでもあるので一日でも早い完成が待たれる。工事については既に貫通していた。今後は館岩側のスノーシェッドとの付け替え工事をするとのことであった。

田島地域の流雪溝導入水路については、冬期間集落内で「水つき」が生じて日常生活に支障が出ているようなので、事業推進に当たり道路管理者の県と協議の上住民の要望に応えられるよう調整を図る必要がある。

◎河川整備について

新潟・福島豪雨災害にあった河川については既に工事が完了していたところもあり復旧が進んでいた。ただ伊南川に多く堆積したままの土砂の撤去については、今年の豪雨災害当時と変わらない状況であった。昨年、県に議会として要望していた事項なので引き続き注視し継続的に要望して行かなければならない。

(3) 環境に関する事項

- ・長野水源地状況確認、田部長野簡易水道 田島地域長野地区
- ・下水管理設工事 田島地域新町地区
- ・水道施設更新工事（配水管敷設） 南郷地域大新田地区
- ・特別環境公共下水道工事（下水管理設） 南郷地域大新田地区
- ・放射能モニタリング試験（伊南総合支所試験室） 伊南地域古町地区
- ・集中豪雨水道災害復旧工事、大桃簡易水道（大久保橋橋梁添架）伊南地域小立岩地区
- ・水道施設更新工事、中部地区簡易水道（配水管敷設） 館岩地域戸中地区

◎ 放射能モニタリング試験の現状を確認したことは大変意義があった。持ち込まれる検体は全てデーター化されて残り、町内の放射線の量が確認できる。ただ公表はしないとのことであったが、持ち込まれた方の名前を伏せて定期的にデーターとして公表すべきなのではないか。今後継続的に調査の必要を感じた。

◎ 上下水道については、計画的に事業が実施されており住民に安全、安心な水の提供及び、し尿処理が図れそう。ただ、工事の施行に当たり水道管敷設と下水管理設が同時にできないことの住民への周知をしっかりと行なう必要があると感じた。このことは引き続き調査を継続したい。

(4) 新エネルギーに関する事項

- ・小水力発電（田島ダム） 田島地域高野地区
- ・小水力発電（旧針生発電所跡） 田島地域針生地区
- ・チップボイラー（道の駅きらら289） 南郷地域山口地区

◎ 小水力発電の実証現場を確認した。今後検証により新エネルギー政策が前に確実に進むように注視して行きたい。チップボイラーについては順調に稼働しているようであった。今後森林整備、とりわけ間伐材搬出の受け皿として担う役割は大変大きなものがあるので、注目して行きたい。

6. 総 括

- ・ 今回の調査は、昨年の新潟・福島豪雨災害の被災現場の復旧状況の確認と 24 年度事業の現地確認であった。被災現場全てを調査することはその現場の多さと時間的制約の中で今回できなかった。再度被災現場については調査をしなければならないだろう。その中で林道災害の復旧は激甚災害指定により 3 年間で工事を完了させなくてはならないという制約があるが、現実的に施工ができるのか。国の制度とはいえ冬期間現場に入れないことを考慮した場合、あまりにもハードルが高くないか。東日本大震災と重なり人手も資材も不足していると聞く。超法規的処置で数年延長できないか、調査が必要である。
- ・ 昨年現地調査をしたおり、住民から要望が出ていた箇所の確認をしたが、今年再確認をすると住民の要望が叶えられていて良好な状態になっていた。スピード感のある対応について率直に評価したい。要望事項が全て叶えられるとは財源等を考えても思わないが、できることは少しでも早めに対応していただきたい。住民の信頼度が上がり一体感も醸成される。
- ・ 議会報告会で該当地区から要望が出た案件で、所管事項について現地で確認と検証を行った。事業化に当たっては出来ること出来ないことは現実的にあり得るが、その結果については該当地区の区長にしっかり説明をして、今後とも継続的に調査を行わなければならない。

平成24年度 所管課現地調査行程

No.	着	発	所要時間	調査箇所	所管課	地区	調査項目・事業概要
5月22日(火)							
		10:00		庁舎発			
1	10:10	10:20	10分	大沢川	建設課	長野	河川災害復旧 L=30.0m
2	10:25	10:50	25分	長野水源地(田部長野簡易水道)	環境水道課	長野	長野地区に配水する水源地(旧・現)の状況確認
3	11:00	11:15	15分	下水管理設	環境水道課	新町	下水管理設
4	11:20	11:30	10分	田島ダム(常時放流口)	環境水道課	高野	小水力発電
5	11:45	11:55	10分	旧針生発電所跡	環境水道課	針生	小水力発電
6				スキー場復興木材市	農林課	針生	車窓見学
	12:10	12:50	40分	きらら289(昼食休憩)			
7	12:50	13:00	10分	チップボイラー	環境水道課	山口	きらら289
8	13:05	13:15	10分	林道大橋線	農林課	大橋	2か所 L=154.0m
9	13:20		15分	水道施設更新	環境水道課	大新田 ～木伏	配水管布設Φ150mm～75mm
10		13:35		特環公共下水道			下水管理設(水根沢～木伏)
11	13:40	13:50	10分	チップ生産保管施設	農林課	青柳	木質バイオマスエネルギー
12	13:55	14:05	10分	小塩沢	建設課	小塩	河川災害復旧 L=9.0m
13	14:10	14:15	10分	伊南総合支所2F測定室	環境水道課	古町	放射能モニタリング
14	14:30	14:45	15分	林道小白沢線	農林課	古町	2か所 L=62.0m
15	15:00	15:15	15分	林道大原線	農林課	内川	1か所 L=518.0m
16	15:25	15:30	5分	大桃簡易水道	環境水道課	小立岩	水道災害復旧(大久保橋橋梁添架)
17	15:35	15:40	5分	水田(農業施設)	農林課	小立岩	土砂撤去
18	15:55	16:05	10分	宮里線	建設課	穴原	道路災害復旧 L=7.0m
19	16:15	16:25	10分	林道前沢入線	農林課	中ノ井	1か所 L=20.0m
20	16:30	16:40	10分	糸沢川	建設課	福渡	河川災害復旧 L=7.0m
	17:00			懇談会々場			旅館湯本屋(湯ノ花)
5月23日(水)							
		8:30		会場発			
21	8:40	8:50	10分	さいたま市立館岩少年自然の家町道	建設課	木賊	
22	9:05	9:15	10分	県道栗山館岩線	建設課	水引	
23	9:25	9:35	10分	中部地区簡易水道	環境水道課	戸中	配水管布設Φ75mm
24	9:40	9:50	10分	水路	農林課	森戸	水路工 L=20.0m
25	9:55	10:05	10分	中山線(台風15号災)	建設課	八総	道路災害復旧 L=7.5m
27	10:20	10:40	20分	新中山トンネル	建設課	八総	
28	10:55	11:05	10分	流雪溝導入水路	建設課	糸沢	糸沢地区要望
29	11:10	11:20	10分	川島コミュニティセンター	農林課	川島	
30	11:30	11:40	10分	川島堰	農林課	川島	堰修繕要望
	12:00			庁舎着			

※1) 車両移動時は、所管課車両が議会車を先導します。

※2) 調査に要する時間・順序等は、当日の天候や状況により変更することがあります。